

2013 年度

地球温暖化対策計画書

1 指定地球温暖化対策事業者の概要

(1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

(2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		国家公務員共済組合連合会 虎の門病院					
事業所の所在地		東京都港区虎ノ門二丁目2番2号					
業種等	事業の業種	分類番号	P83	P_医療_福祉	医療業		
		産業分類名	医療業				
	事業所の種類	主たる用途	医療施設				
		用途別内訳	建物の延べ面積 (熱供給事業所にあつては熱供給先面積)	前年度末	59,018.87 m ²	基準年度	61,261.90 m ²
			事務所	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			情報通信	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			放送局	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			商業	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			宿泊	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			教育	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			医療	前年度末	59,018.87 m ²	基準年度	61,261.90 m ²
			文化	前年度末	m ²	基準年度	m ²
			物流	前年度末	m ²	基準年度	m ²
駐車場	前年度末		m ²	基準年度	m ²		
工場その他上記以外	前年度末	m ²	基準年度	m ²			
事業の概要		二次救急指定病院 教育病院 診療科目 血液科 内分泌代謝科 呼吸器センター 消化器科 肝臓科 神経内科 精神科 循環器センター 腎センター リウマチ膠原病科 臨床腫瘍科 小児科 皮膚科 放射線科 消化器外科 脳神経外科 間脳下垂体外科 脳神経血管内治療科 整形外科 泌尿器科 眼科 乳腺・内分泌科 耳鼻咽喉科 産婦人科 リハビリテー ション科 麻酔科 歯科 人間ドック分院内科総合診療科 病床数 890床					
敷地面積		7,151.30 m ²					

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名称	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 事務部施設環境課	
	連絡先	電話番号	03-3560-7761
		ファクシミリ番号	03-3560-7778
		電子メールアドレス	sisetu@toranomom.gr.jp
公表の 担当部署	名称	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 事務部施設環境課	
	連絡先	電話番号	03-3560-7761
		ファクシミリ番号	03-3560-7778
		電子メールアドレス	sisetu@toranomom.gr.jp

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス： http://www.toranomon.gr.jp/pdf/about/outline/chikyuuondankataisakukeikakusho.pdf
	<input type="checkbox"/> 窓 口 で 閲 覧	閲覧場所：
		所在地：
		閲覧可能時間
	<input type="checkbox"/> 冊 子	冊子名：
	入手方法：	
<input type="checkbox"/> そ の 他		

(5) 指定年度等

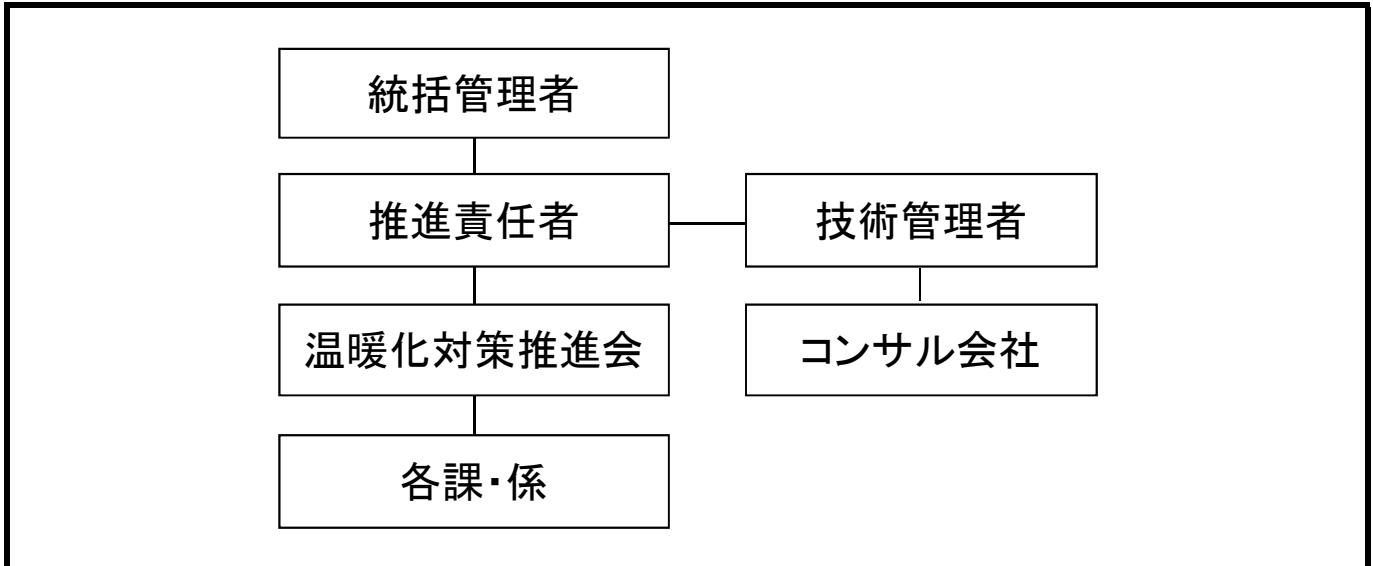
指定地球温暖化対策事業所	2009 年度	事業所の 使用開始年月日	◎平成18年3月31日以前
特定地球温暖化対策事業所	2009 年度		○平成18年4月1日 以降

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

■基本方針
エネルギー消費効率の優れた設備の導入、設備の運転、保守、点検の制定、と推進体制の強化をもって地球温暖化対策に取り組む。

■取り組み
意識の継続・・・従業員に対し、危機感をもって意識の向上を図り、尚且つ継続をもって地球温暖化対策及び環境対策に積極的に取り組むよう普及啓発する。
省エネシステムの導入・・・計画期間内に定めた削減目標をクリアする為に、施設環境課が陣頭指揮をとり、他部門とも協議を重ね対策を実施するものとする。
環境改善・・・地域社会に貢献できるよう環境負荷の小さい設備の導入に取り組む。また、地域ボランティア等にも院全体で積極的に取り組むものとする。

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2010 年度から 2014 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	エネルギーの使用の最適化・効率化を追求すると共に、運用対策を実施することにより、総量削減義務（6%見込み）以上の削減を目指す。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当事業所から排出される特定温室効果ガス以外のガス（その他）ガスは、上水・下水使用に伴う排出である。節水意識を高めその他ガスを削減する。		
削減義務の概要	基準排出量	8,640 t（二酸化炭素換算）/年	削減義務	I-2
	排出上限量（削減義務期間合計）	40,610 t（二酸化炭素換算）	平均削減	6.0%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2015 年度から 2019 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	耐用年数を越えた設備を省エネ型タイプに更新することで、基準排出量の17%以上の削減を目標とする。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	節水を実施し、その他ガスを現状の2%以上削減を目標とする。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	年度
特定温室効果ガス（エネルギー起源CO ₂ ）		8,280	8,723	8,030	8,217	
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）					
	メタン（CH ₄ ）					
	一酸化二窒素（N ₂ O）					
	ハイドロフルオロカーボン（HFC）					
	パーフルオロカーボン（PFC）					
	六ふっ化いおう（SF ₆ ）					
上水・下水						
合計		8,280	8,723	8,030	8,217	

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/m²・年

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	140.3	147.8	136.1	139.2	

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（2005年度、2006年度、2007年度）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

変更年度	年度	変更理由	
変更年度	年度	変更理由	
変更年度	年度	変更理由	

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 2
----------	-------

(4) 削減義務期間

2010 年度から	2014 年度まで
-----------	-----------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)	8,640	8,640	8,640	8,640	8,640	43,200
	削減義務率 (B)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	
	排出上限量 (C = Σ A - D)						40,610
	削減義務量 (D = Σ (A × B))						2,590
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)	8,723	8,030	8,217			24,970
	排出削減量 (F = A - E)	-83	610	423			950

(7) 特定温室効果ガスの排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

2011年の大震災に起因する電力供給力不足に対する節電に関して、引き続き当院も協力しきめ細かな節電対策を実施したが、2011年度の緊迫した状況下での節電に比べ、2012年度は通常の節電(省エネ)に戻した反動もあれど結果として効果が表れ、特定温室効果ガスの排出量が減少した。

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
1	130100	13_空気調和の管理	省エネファンベルトの導入	2011	
2	150200	15_照明設備の運用管理	HF蛍光ランプへの更新	2010	
3	150200	15_照明設備の運用管理	高輝度型誘導灯への更新	2011	
4	180200	18_その他	液晶テレビへの更新	2011	既存のブラウン管を液晶テレビへ更新
5	180200	18_その他	節水コマの導入	2012	厨房の給湯蛇口に節水コマを導入ことによって給湯量を削減し、結果的に給湯のための燃焼燃料を削減する
6	130100	13_空気調和の管理	空気調和機(AHU)、外気調和機(OHU)の風量調整	2013	空気調和機(AHU)、外気調和機(OHU)の風量調整を行ない、ファン電動機の電力量削減を行なう
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

環境配慮型の病院を目指し積極的にきめ細かな運用対策を実施している。